

おぼえがき資料通報

軍 邦

察部 引隊	担任	地区	区分
----------	----	----	----

A 資料提供者		B 未 帰 還 者 資 料					入手
詳細な本人との関係		詳細な状態	場所	時期	所属部隊(職域又は住所)	属有無	経緯
所 属 (職名) 現住所		平素病弱な兵であつたが入院 しても医療設備もなく粗悪な給 養のため病院生活に堪へ得ず 死したものの死体はないかと思ふ	アラ ラ コ エ	昭和 20年 10月 16日	(甲) 乙	役種(現召)	
階級(職名)			甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	中	兵種(職業)
氏名		入院	区 分	留守宅 本籍	氏名	階級(職名)	20
本籍		甲 乙 丙	甲 乙 丙	留守宅 本籍	甲 乙	年	2
氏名		摘要			留守宅 本籍	甲 乙	官公署
本籍		摘要			留守宅 本籍	月	才
氏名		摘要			留守宅 本籍	日生	
本籍		摘要			留守宅 本籍	甲 乙	調製
氏名		摘要			留守宅 本籍	当時	
C 所見							

索引	有 無 済	戦	△	中	収	番号
----	-------	---	---	---	---	----



戰時死亡現認證明書

現認者 年 月 日
官 氏 印 事

區 分

記

事

本 籍 地

[Redacted]

所 屬 部 隊

高 州 營 第 三 班 班 長

役 種 徵 集 年

現 任 班 長 和 九 年 徵 集

年 月 日

[Redacted]

住 所

[Redacted]

姓 名

[Redacted]

年 月 日

和 九 年 十 月 三 日 特 命 發 給

[Redacted]



小一

おぼえがき
資料道報

案部 明隊	担任	地区	区分
----------	----	----	----

A 資料提供者		B 宋 復 員 者 資 料					C 所見	
昭和 年 月 日 上陸	本人との関係 (詳細に)	状態(詳細に) 輸送途中左手、指を利傷し、同箇 所を化膿し、凍傷となり、部隊と同 一行動がとれなかつた為、アラカエ左 足の筋力不足の病状に入院予定の名目 を以て離隊す。	場所 アラカエエンスク	時期 昭和20年10月初日	所属部隊 中国独歩31大	① 無	兵種 歩	
	所属					現住所		② 補
階級	氏名	③ 乙	④ 乙	⑤ 乙	⑥ 乙	兵名	番号	
上陸地	本籍	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙 丙	甲 乙	年 月 日	当隊	
知照佐				摘要				

合
口
探
宅
用
道
名
取
照
2
3
台
公
局
所
世
前
課
係
員

索引 | 有 無 済 | 逆 中 收 忠 派 | 番号

能	四	約	化
能	能	約	化
[redacted]	[redacted]	名	[redacted]
病	區	由	[redacted]
失	區	由	[redacted]
容	區	由	[redacted]
容	區	由	[redacted]
上	區	由	[redacted]
其	區	由	[redacted]
其	區	由	[redacted]

死亡理由

(傷病死)

甲 二ヨリ死亡

功績(金共要否)

死亡前右ノ状況(本人並ニ所屬部隊) 永徳或張所長、 駐殿六偶然長夫

ニ於テ捕虜場 協成ニテ 猶ヨリ死亡場所 牧野所ニ 曹確カ十日頃到着

環境 気候 風土 不長ト長 運ノ 轉送 行疲ラレタ中 附殿入道如療

中ノ 所ニ 貴領死セシメシ

死七認定ノ理由

目録 乙 死体埋葬

右之通り認定ス

所屬部隊名 滿洲第二九四部隊本部

現住所

官等氏名 陸軍中曹

備考 八判明セシ所ハ或ルベク詳シク記載セシメ度ク

又死亡認定ノ理由ハ三項度(例ハ八昭22.3.3.甲)ヲ示サレ度ク 同ハ確實、之ハ記憶ウズキモノ

一 丙ハ他人ヨリキケモノ



船名 昭和 年 月 日

上陸支隊 33-13

昭 20.12. ?	死亡年月日 大時刻	信託隊 第三師団 一等兵	所屬部隊 死亡者 氏名	死亡者 氏名	死亡者 氏名	死亡者 氏名	死亡者 氏名	死亡者 氏名	死亡者 氏名
収容所 六口アスク	死亡場所		死亡原因 急性肺炎	死亡事由	不明	甲	自ら死を認		

本籍地

所屬部隊

兵種官等級氏名

祭病場所

受傷年月日

傷病死名

死亡場所

死亡區分

死亡年月日

摘要

右確認したる事を證明す

昭和二十五年

現認者

現住所
所屬部隊
氏名

上等兵

現住所
所屬部隊
氏名

中隊
飛行兵一等兵

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

昭和三十二年十一月

<p>所屬團有名 第三九飛行場隊補給中隊 滿洲第九一九九部隊</p>	<p>留榮現住所 父</p>	<p>死者 大發(應召)年 内地港灣 昭和二十年四月一日(出発全日)</p>	<p>略者 去東作戦名及 三具</p>	<p>歴時 職務</p>
<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>
<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>	<p>昭和二十年四月一日 隊(満洲縣八日市)入隊、全月八日全 隊出発、全月十日九州博多港出発 昭和二十年四月十日(出発全日) 金山港到着</p>

現認

七認定

階級進級
昭和二十年四月一日
陸軍二等兵
合格全日上等兵
昭和二十年一月六日
陸軍伍長

レニンスク
キロワ炭鏡ニ於
採炭作業

死に因る放流(本人送)所属部隊

昭和二十年十月廿日滿州出發 今十二月八日現地に到着 抹去作業に従事中急病

死亡認定理由

甲

(昭和二十年十二月二十日急病翌二十一年一月七日死亡) 戦友トシテ看取ニ最善ヲ盡シタルモ初ナク死セシタリ

目認

乙 死体埋葬

丙 他人申聴リ 其ノ他

右之通り認定ス

所屬部隊

元 滿州第二九馬行場大隊

現住

官等氏名印

元陸軍上等兵

備考

一 判明セル所成ルベク詳シク記載セラレ度ク

二 死亡認定ノ理由ニ其ノ確度(例ヘバ昭和十九年十月二日甲)ノ

甲 確實ナルモノ 乙 記憶少ス下モノ 丙 他人

死 亡 現 認 証 明 書 (確)

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料												
法 方 法 知 亡 死	死 亡 現 認 証 明 書	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	死 亡 現 認 証 明 書					現 留 守 担 当 者	本 籍 地	所 属 部 隊	所 属 部 隊 通 称		
				死 亡 区 分	発 病 時	傷 病 名	死 亡 場 所	死 亡 日 時					死 亡 日 時	
自分か死に報告を受け、死者連名簿を作成した	現地埋葬	なし	現地埋葬	戦病死	昭和21.1.5	癩疹チブス	ブカキヤ 中央病院	昭和21.1.15	昭21.1.15	昭21.1.15	内	縣府道都	獨工40連	獨工40連
保 関 の と 者 亡 死	同 部 隊 收			※甲	※甲	※甲	※甲	※甲	※甲	※甲	確 度	縣府道都	獨工40連	獨工40連
隊 部 属 所	所 住 現	死亡当時の状況及び参考資料 本名同収容所へ一籍に作製して、昭和21.1.5癩疹チブスに罹り中央病院に入院後病状極度に悪化し昭和21.1.15同病院に於て死亡す。 死亡直後病院より報告を受け、自分か死に報告を受け、死者連名簿に記入した。尚本人の写真はないが特徴等を対照するに本人に間違いないと認めし。												
隊 部 属 所	所 住 現	続柄(妻)												
名 氏 級 階	名 氏 級 階	名 氏 年 月 日 生												

裏面記載上の注意を見て書き下され(※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞かれます)

馬

現認(事實)證明書

本籍地 [redacted]
所属部隊 固有名 山砲三五兵隊 通稱名 朝鮮三〇八部隊
徵集年次 一九四九 役種 現 兵種 山砲
官等級(昭和ニニノ年ノ月ノ日發令)氏名 [redacted]
一 孝次 年 月 日生

102716

- 一、死亡年月日時分 昭和ニニノ年ノ月ノ日 〇時〇分
- 二、死亡區分及傷病名 平病死(自殺)
- 三、死亡場所 領事館前地(奉天)收容所(奉天)收容所
- 四、死亡状況
- 五、遺骨及遺留品の有無 遺骨持来
- 六、死亡に関する書類の有無 無し

右の通り相違ない事を證明する

昭和ニニノ年 〇月 〇日 元所属部隊(固有名) 山砲三五兵隊
(通稱名) 朝鮮三〇八部隊

現住所 [redacted]
舊職官舎氏名 一孝次 [redacted]

- 一、死亡者本籍地
- 二、遺骨持来者の住所(氏名)

右の通り相違ないことを證明する

昭和 年 月 日

縣 郡 村町市長 印

死亡現狀證明書

死亡者所属部隊名	回有名	通稱	満洲カ八三五三部隊
享年得種兵種	終身年	十八年	役種
官	死亡前	陸軍伍長	現役
氏名		陸軍伍長	陸軍伍長
死亡區分	病	死	死亡後
死亡年月日時	昭和二十一年一月二十日	十一時	確度
死亡場所	満洲カ七五八〇部隊		時間
死亡原因	死之前数日、赤痢トナリ、病状次カニ悪下、遂ニ養失調トナリテ死ス。		月日
死亡者本籍地			時間
死亡者本籍地			

右現認
昭和二十六年五月六日

元所屬部隊
満洲カ七五八〇部隊
元官等
陸軍伍長

日ノ...

15-11

